

令和5年度の取組結果一覧

山陰線WT

令和5年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
JR山陰本線(城崎温泉駅～竹野駅間)利用促進策創出ワークショップ	実効性のある持続可能な利用促進策を地域と協働して検討・実行するためのワークショップを開催	5,500千円	豊岡市			●
(実施状況・反響・改善点等)	第1回～5回まで開催 延べ参加者数：129名					
JR山陰本線(城崎温泉駅～竹野駅間)利用促進策創出「乗って守ろう！竹野駅ペイ」	竹野地域内の観光施設、宿泊施設、飲食店等で使用できるクーポン券(100円/1枚)を配布	5,500千円	竹野地域公共交通利用促進委員会、豊岡市	●		
(実施状況・反響・改善点等)	配布実績：2万枚 換金実績：1,880,200円 換金率：約94%					
持続可能な公共交通体系の構築	路線バスの乗降車におけるキャッシュレス環境の実装に向けた課題の抽出	3,442千円	全但バス、豊岡観光イノベーション、KDDI、豊岡市	●		●
(実施状況・反響・改善点等)	利用者より「現金を用意する必要が無く便利」「運賃表等を気にしなくて良い」など肯定的な意見がある一方、「反応速度が遅い」など改善要望もあった。					
定額観光タクシーを活用した公共交通利用促進事業	公共交通への利用助成(定額観光タクシー)と映画ロケ地にて提供されたロケ弁(イメージ)を提供	2,500千円	養父市		●	
(実施状況・反響・改善点等)	実施期間：8月1日～11月30日 延べ利用人数：68名					
養父市関宮小さな拠点づくり共創プラットフォーム事業	公共交通を地域住民の乗車体験を通じて検討するため、デマンド交通実証実験を実施	—	養父市、全但バス、社会福祉法人（ほか）	●		
(実施状況・反響・改善点等)	実施期間：10月28日～11月30日 デマンド車両 延べ利用人数：259名（対象エリア人口の約1割）					

令和5年度の取組結果（一覧）

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
鉄道利用促進助成事業	香住町在住者が町内5駅を発着として2名以上で往復する場合の利用料金の半額を助成	2,000千円	香美町	●		
(実施状況・反響・改善点等)	申請件数：177件 延べ利用人数：435名 「普段は車で移動していたが、助成があるので利用したい」という声があった。					
鉄道往復利用支援事業	浜坂駅を発着駅として豊岡(城崎温泉)駅又は鳥取駅を往復利用時の片道乗車券とハルティ配布	253千円	新温泉町	●		
(実施状況・反響・改善点等)	延べ利用人数：133名 継続利用に繋がる仕組み作りを検討していく。					
持続可能な公共交通体系の構築 (県民局等)	交通連合の設立を見据えた準備会の発足	—	但馬県民局、沿線各市、交通事業者	●	●	
(実施状況・反響・改善点等)	準備会発足に向けた担当者会議を2回開催。①料金のバリア解消、②時間のバリア解消、③施設のバリア解消を目標とし、必要により有識者を招いて協議を進める。					

令和5年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
募集型企画旅行の実施 (実施状況・反響・改善点等)	地元住民を対象に特急列車を利用した募集型企画旅行を月1回程度実施 参加者：312名	—	竹野駅を愛する会		●	
竹野駅乗車券類等簡易委託販売業務 (実施状況・反響・改善点等)	竹野駅での乗車券類の販売、日常清掃業務、利用者の利便性向上に資する業務 竹野駅ペイが好調であり、現金販売合計がコロナ前の約9割まで回復	2,280千円	(一社) たけの観光協会	●		
市職員公共交通利用 (実施状況・反響・改善点等)	市職員の市内移動、域内出張等にあたり公共交通機関を利用 182件 延べ利用人数：249名	300千円	豊岡市	●		
e通勤プロジェクト (実施状況・反響・改善点等)	公共交通機関を利用した通勤の推奨 368名 24.6%	—	豊岡市	●		
特急はまかぜ利用促進補助金 (実施状況・反響・改善点等)	特急はまかぜの利用者に対する補助金 利用実績：個人639件、団体8件	930千円	朝来市	●	●	
公共交通通勤利用助成金 (補助金・奨励金) (実施状況・反響・改善点等)	通勤時の鉄道、路線バス定期利用者又は企業等に対して支給する補助金・奨励金 利用実績：8件 市内各駅に近い企業等へのPRが不足	729千円	朝来市	●		
情報発信 (実施状況・反響・改善点等)	ケーブルテレビ、市広報誌、SNSなど活用した情報発信 市の広報媒体を使った情報発信および各種助成制度の一覧表を市民に配布 市公共交通情報誌「あさごナビ」の普及・啓発が重要	—	朝来市	●		●

令和5年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
意識啓発（醸成）	公共交通ワークショップ（市内2会場：46名参加） まちづくりフォーラム（市内11会場：708名参加）	—	朝来市	●	●	●
（実施状況・反響・改善点等）	多くの市民の参画を得ており、市民意識の醸成に貢献					
利用促進	市民・行政・交通事業者の3者が一体となった利用促進（市職員による利用促進の取組など）	—	朝来市	●	●	
（実施状況・反響・改善点等）	三位一体で利用促進に取り組んでいる。					
公共交通アンケート	公共交通に関する現状やニーズ等を把握し、新たな公共交通体系の確立に向けた全世帯を対象にした市民アンケートを実施（6月実施）	7,000千円	朝来市	●	●	●
（実施状況・反響・改善点等）	市内全戸配布（11,917枚）により、公共交通に関するアンケート調査を実施 アンケート調査結果は、市の公共交通体系の再編方針決定の際に活用					
駅周辺駐車場利用料金助成事業補助金	JRの通勤定期券を購入し、市内駅周辺の月極駐車場を利用する市民に対する駐車場利用料金の補助（1カ月当たり、上限3,000円）	360千円	朝来市	●		
（実施状況・反響・改善点等）	利用実績：1件 市民への周知不足が浮き彫りになったため、周知方法について検討					
特急はまかぜ利用者専用パーク＆ライド駐車場	特急はまかぜを利用する市民の自家用車等の駐車場を事前予約により無料で利用できるサービス（和田山駅：3台分、生野駅：3台分）	416千円	朝来市	●		
（実施状況・反響・改善点等）	利用実績 生野駅：93件 和田山駅：186件					
市民意識の醸成と地域が主体となった利用促進	地域自治協議会等によるウォーキングイベント等 生野高校生による駅周辺活性化事業(生野駅)	—	朝来市	●		
（実施状況・反響・改善点等）	多くの市民の参画を得て、市民意識の醸成に繋がった。					

令和5年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
職員e-出張事業	神戸等への職員一人の出張について特急はまかぜの利用を促進する事業を実施	881千円	新温泉町	●		
(実施状況・反響・改善点等)	延べ利用者：160名 令和5年度より豊岡及び鳥取へ普通列車での出張も対象とし、利用人数が大幅に増加					
特急はまかぜ利用助成金事業	町民が特急はまかぜを利用（町内4駅から大阪駅までの運行区間内）者への乗車券や特急券の購入費用を助成	1,050千円	新温泉町	●		
(実施状況・反響・改善点等)	延べ利用人数：429名 町民が移動手段で鉄道を選択するきっかけとなった。新規利用者の仕組みづくりを検討する必要がある。					
町民ふれあいの旅事業	特急はまかぜを利用した町民ふれあいの旅を6月16日～17日に実施 行き先：愛知県（岡崎市、蒲安市等）	307千円	新温泉町		●	
(実施状況・反響・改善点等)	参加者数：35名 「久しぶりの乗車で満足」「乗れて良かった」といった声をいただいた。					
ジオトレイルと連携したJRハイキング	地元ガイドと共に訪ね歩く、駅周辺の探検ウォーキングを実施	250千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会	●		
(実施状況・反響・改善点等)	実施日：9月30日 道の駅あまるべ～JR鎧駅 参加者：16名 距離がちょうど良く、ガイドの話も面白かったので来年度もぜひ参加したいと好評					
豊岡車両基地探検	地域住民(子ども)を対象に豊岡駅構内車両基地の見学会を実施	50千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会	●		
(実施状況・反響・改善点等)	実施日：11月3日 JR豊岡駅車両基地にて開催 参加者：123名 但馬管内小学生(保護者含む)により認知いただける広報に取り組む					

令和5年度の取組結果（一覧）

山陰本線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
レンタサイクル利用補助事業	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者の2次アクセスを充実	450千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会		●	
(実施状況・反響・改善点等)	遠方から来たことが分かる切符の提示で最大全額無料 利用者：1,217名（期間：8月5日～11月30日） 電車での観光に便利、次回も利用したい、継続してほしい等の感想が多かった。					
夢但馬周遊バス「たじまわる」の運行	各駅と観光地を結ぶ“たじまわる”の運行を軸に、主要観光地の二次交通を確保	15,278千円	但馬観光協議会			
(実施状況・反響・改善点等)	立ち寄り先でのサービスを拡充した結果、2,412名利用 （前年度比：323名増加） JR広報の影響が大きく、DCによるPR効果が乗車人数の増加に繋がったことから、今後もJRと継続的に連携しながら広報に取組み、更なる乗車人数増加を図る。				●	
鉄道利用促進但馬キャンペーンの展開	駅と主要観光地のデジタルスタンプラリーの実施及び期間中に但馬をイメージしたキャラクター等のラッピング列車を運行	3,000千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会		●	
(実施状況・反響・改善点等)	令和6年2月23日～9月23日に開催し、キャンペーン対象駅及び観光地のほか協賛者によるノベルティグッズ配布。JR等と連携して広報活動を実施					
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業（県・市町協調事業）	駅周辺の賑わいを生み出す取組みを行う事業者等を対象に、事業費の一部補助	400千円	兵庫県（自治体協調）			
(実施状況・反響・改善点等)	香住高等学校、浜坂高等学校の2団体を採択 【香住高等学校】 実施日①10月28日 ②3月23日 参加者数①約300名 ②約150名 JR香住駅にて高校生カフェや紙芝居、駅前にて実習製品販売等催しイベントを実施 カフェをしていた駅舎は特に盛況で、実習製品缶詰は開始1時間で完売 【浜坂高等学校】 実施日①10月28日 ②11月18日 参加者数①約240名 ②約200名 JR浜坂駅前にて、道の駅のお土産商品販売や軽食と菓子製作・販売等を実施 今後はより一層、JRの利用促進と結び付けた事業実施を検討			●	●	●

令和5年度の取組結果（一覽）

山陰本線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
JR山陰本線駅カードの作成・配布	JR山陰本線（青谷駅～豊岡駅間）に 乗車した人を対象に駅カードを配布	481千円 (兵庫県負担)	鳥取県東部地域鉄道 利用促進実行委員会、 兵庫県			
(実施状況・反響・改善点等)	JR山陰本線（青谷駅～豊岡駅間）全24駅の駅カードを作成 各駅500部作成し、観光協会等にて配布(配布期間：令和6年3月～8月末) 駅カード全制覇+はまかぜ乗車等の条件達成者先着300名にコンプリート賞を贈呈				●	
JR山陰本線駅スタンプラリーの実施	既存の駅スタンプ等を活用したスタンプラリー を実施	—	鳥取県東部地域鉄道 利用促進実行委員会、 兵庫県			
(実施状況・反響・改善点等)	JR山陰本線(青谷駅～豊岡駅間)主要9駅の既存の駅スタンプを活用(一部復刻) コンプリート賞として先着100名にオリジナルトートバックを贈呈 実施期間：10月28日～12月27日 参加者数：308名 アンケートからは、日頃鉄道利用しない人の参加に繋がったことがわかった一方、 実施期間が短いという意見が多かったため、実施期間の見直しが必要。				●	
チケットレスの利用説明会	芸術文化観光専門職大学生へのチケットレス利 用の説明会	—	J R 西日本			
(実施状況・反響・改善点等)	実施日：4月7日 参加者数：約100名参加			●		
WESTERへの情報集約	WESTER おでかけスポット・イベント情報 の登録	—	J R 西日本			
(実施状況・反響・改善点等)	城崎温泉～浜坂間、現在24スポット、2イベント掲載（内7件、JR関連会社の掲載 登録含む）			●		
兵庫DCを契機としたイベント列車	イベント列車運行	—	J R 西日本			
(実施状況・反響・改善点等)	銀河：7月1日、2日 TWILIGHT EXPRESS 瑞風：7月29日 兵庫たじまの宝箱：7月8日、9日、15日～17日、23日、30日 8月5日、6日、20日、26日、27日 演劇列車：9月17日、18日、20日～23日 サロンカーなにわ：9月28日、29日			●		

令和6年度の取組一覧

山陰線WT

令和6年度の取組（一覧）

山陰本線

	項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
					日常利用	観光需要	まちづくり
市町	【継】「乗って守ろう！竹野駅ペイ」の実施	竹野地域内の観光施設、宿泊施設、飲食店等で使用できるクーポン券(100円/1枚)を配布	3,954千円	竹野地域公共交通利用促進委員会	●		
	【新】トライやる・ウィーク交通費支援	トライやる・ウィークにおいて、体験活動先の事業所へ移動する際の公共交通機関を利用した際の費用を支援	436千円	豊岡市	●		
	【新】自動運転バス実証実験	自動運転バスの導入により新たな交通体系の在り方を検討	15,000千円 ※国補助金 採択状況による	養父市	●		
	【新】やぶくる運行エリア拡大	大屋・関宮地域のどちらかを発着地点とする6つのスポット（八鹿駅、八鹿病院、養父市役所、やぶYタウン、スーパーセンタートライアル養父店、ほっとステーション）までの運行を拡大。	-	養父市	●	●	●
	【継】鉄道利用促進助成事業	香住町在住者が町内5駅を発着として2名以上で往復する場合の利用料金の半額を助成	2,000千円	香美町	●		
	【継】鉄道往復利用支援事業	浜坂駅を発着駅として豊岡(城崎温泉)駅又は鳥取駅を往復利用時の片道乗車券とハルティ配布	338千円	新温泉町	●		
	【新】特急はまかぜ「ちょい乗り」事業	10人以内の町民が浜坂駅から鳥取駅まで特急はまかぜ号を利用する場合に片道分の乗車券を配布	1,050千円	新温泉町	●		
	【新】鉄道往復団体利用支援事業	10人以上20人以内で町民の方のみの団体が浜坂駅を発着駅として豊岡(城崎温泉)駅または鳥取駅までの間を往復利用した場合に片道分の乗車券を配布	130千円	新温泉町	●		

令和6年度の取組（一覧）

山陰本線

	項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
					日常利用	観光需要	まちづくり
市町	【継】 町民ふれあいの旅事業	特急はまかぜを利用した町民ふれあいの旅	430千円	マックラバルカー びん、 新温泉町		●	
	【継】 特急はまかぜ利用助成金交付事業	町民が特急はまかぜを利用時の乗車券等の運賃を助成	1,050千円	新温泉町	●		
事業者	【継】 WESTERへの情報集約	自治体、観光協会等からの情報をWESTERへ掲載しPR	—	JR西日本、 各自治体		●	
市町	【継】 兵庫県但馬キャンペーンひょうこ と巡る 山陰線・播但線の旅	駅と主要観光地のデジタルスタンプラリーの実施及び期間中に 但馬をイメージしたキャラクター等のラッピング列車を運行	—	但馬地域鉄道 利便性向上対 策協議会		●	
事業者	【新】 兵庫DCアフターキャンペーン	JR西日本と沿線自治体、地元観光業者、旅行会社等が 一体となった観光キャンペーン	—	JR西日本、 各自治体		●	
	【継】 サイコロきっぷ	大阪駅からサイコロの出目で決まる着地までの往復JR ローカル線普通車指定席が利用できる商品（城崎温泉 駅）	—	JR西日本		●	
県	【継】 持続可能な公共交通体系の構築	県民局が事務局として、課題解決に向けた関係機関との 調整や交通連合の構成員や実施業務等の原案作成等を実施。 必要に応じて有識者を招いて協議を進める。	—	兵庫県・但 馬3市2 町・交通事 業者	●	●	
市町	【継・拡】 JR山陰本線利用促進事業	JR山陰本線利用促進策創出ワークショップで出された施策の実 施（竹野駅への継続実施・拡充、小中学生の利用促 進）	5,500千円	豊岡市、 （一社） たけの観 光協会	●	●	
	【継】 竹野駅乗車券類等簡易委託販売業務	竹野駅での乗車券類の販売、日常清掃業務、利用者の利 便性向上に資する業務	2,280千円		●		

令和6年度の取組（一覧）

山陰本線

	項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
					日常利用	観光需要	まちづくり
市町	【継】市職員公共交通利用	市職員の市内移動、域内出張に公共交通機関を利用	300千円	豊岡市	●		
	【継】e通勤プロジェクト	公共交通機関を利用した通勤の推奨	—	豊岡市	●		
	【継】募集型企画旅行の実施	地元住民を対象に特急列車を利用した募集型企画旅行を月1回程度実施	—	竹野駅を愛する会		●	
	【継】養父市関宮小さな拠点づくり共創プラットフォーム事業	デマンド交通実証実験を行い、将来の公共交通のあり方を検討すると共に実装に向けて取り組む	20,573千円 ※国補助金採択状況による	養父市、交通事業者等	●		
	【新・継】デマンド型乗合交通の導入ほか（播但線再掲）	市内公共交通の利便性向上と鉄道や路線バスからの2次交通の充実を図るため、市内全域でデマンド型乗合交通を段階的に導入	76,247千円 ほか	朝来市	●	●	●
	【新】和田山駅利便性向上委託事業	和田山駅の南北をつなぐ自由通路の概略設計と和田山駅前ロータリーの利便性向上の検討	15,000千円	朝来市	●		●
	【継】職員公共交通利用出張事業	職員が出張を行う際に、公共交通を利用（鉄道、航空機、高速バス）することで公共交通の利用促進を図る。	1,533千円	新温泉町	●		
県	【継】1日乗車券500円観光バス「たじまわる」の運行	JR各駅等と観光地を結ぶ1日乗車券500円観光バス「たじまわる」の継続運行を軸に、主要観光地の二次交通を確保。ガイド無料や観光施設入館無料等、立ち寄り先での特別体験を企画	15,437千円	但馬観光協議会		●	
	【継】JRローカル線駅周辺活性化モデル事業	JRローカル線の駅舎や駅周辺の遊休不動産等を活用し、駅周辺に人の流れや賑わいを生み出す事業者、自治会等の地域団体、学校等の取組を支援することにより、駅周辺の活力や魅力を向上させ、利用拡大を図る。	200千円	兵庫県(市町協調)			●

令和6年度の取組（一覧）

山陰本線

	項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
					日常利用	観光需要	まちづくり
県	【継】 レンタサイクル利用補助事業	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者の2次交通を充実	790千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会		●	
	【継】 車両基地探検の実施	地域住民（子ども）を対象に豊岡駅構内の車両基地見学会を実施					
	【継】 JRハイキング	山陰本線の竹野駅～居組駅の間で事業を展開し、沿線の地域資源を活かした新たなツーリズムを創出するガイド付きハイキングツアー造成を実施する事業者、地域活動団体等の取組を支援し、同線の魅力向上及び利用拡大を図る。				●	
	【継】 JR山陰本線駅カードの作成・配布	JR山陰本線（青谷駅～豊岡駅間）に乗車した人を対象にその区間の駅カード（全24駅）を配布。各駅500部作成し、観光協会等指定の場所にて配布（3月9日～8月31日）し、駅カード全制覇+はまかぜ乗車等の条件達成者（先着300名）にはコンプリート賞を贈呈	—	鳥取県東部地域鉄道利用促進実行委員会 兵庫県		●	
	【新】 アフターDC・ひょうごFPを見据えた地域内周遊の促進	アフターDCやFPの展開を契機に来但を見込む観光客の二次交通手段の確保や今後の運行に向けた検証・検討のため、交通事業者が実施する周遊観光に資する事業に対し、事業費の一部を支援し観光地と公共交通機関を結ぶ二次交通の充実を推進	3,000千円	兵庫県		●	
	【新】 ひょうごFP地域内連携の強化と情報発信	FPへの取組を契機として観光客を但馬へ誘客し、観光GDPの上昇や公共交通機関の利用促進を図るとともに、地域の持続可能性を高めるため、各FPの地域内連携の強化や情報発信を行う。 芸術文化観光専門職大学と連携したモデルコース作成、学生モニターツアー、SNS等による情報発信	3,000千円	兵庫県		●	
事業者	【継】 演劇列車の運行	豊岡演劇祭と連携した演劇列車の運行	—	豊岡市、JR西日本		●	73

令和 5 年度の取組結果一覧

加古川線WT

令和5年度の取組結果（一覧）

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
通学定期券購入補助事業	市内在住の学生で、西脇市～谷川駅間に係る通学定期券の額の2分の1を補助	1,500千円	西脇市、丹波市	●		
(実施状況・反響・改善点等)	利用人数：43名 両市市民に限定されるため、西脇市駅以南の利用も含めたスキームの検討が必要					
JR加古川線に乗ろう！キャンペーン	駅周辺地域でのイベント等キャンペーン、ハイキング、レンタサイクル事業などの実施	1,000千円	黒田庄まちづくり協議会、西脇市		●	●
(実施状況・反響・改善点等)	イベント：約350名 レンタサイクル事業：利用者32名うち、JR利用20名 より多くの住民を巻き込むための仕掛けが必要					
加古川線フォトコンテスト ～さあ、加古川線（加せ）を愛そう～	鉄道写真家による講演会の実施、フォトコンテストの開催等を実施。メディアを活用したPRに取り組む	608千円	西脇市、丹波市	●	●	
(実施状況・反響・改善点等)	講演会参加者数：213名 応募作品：112点 鉄道写真など、鉄道本来の利用目的以外でも利用促進を図ることは可能					
ARデジタルスタンプラリー	兵庫DCの期間に合わせ、駅及び周辺観光施設等をスタンプスポットとして登録	3,200千円	北播磨広域観光協議会		●	
(実施状況・反響・改善点等)	登録者数：667名(日本へそ公園177名、ちーたんの館124名) 久しぶりに駅を訪れたという声もあり、駅(鉄道)を再認識するきっかけとなった。					

令和5年度の取組結果（一覽）

加古川線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
我が町考え隊「heso city clubプロジェクト」	地域住民、社会活動家等が中心になり、鉄道を中心とした地域活性化策を検討	300千円	社会活動家、北播磨県民局		●	●
(実施状況・反響・改善点等)	ワークショップ参加者数：約100名 利用促進につなげられるよう継続した取組が必要					
JR加古川線リレーマルシェ	駅周辺でのマルシェを開催 西脇市区域、丹波市区域でそれぞれ実施	—	まちづくり協議会、自治振興会（ほか）	●	●	●
(実施状況・反響・改善点等)	久下村夜市(8月22日)：加古川線利用者約270名 谷川夜市(12月22日)：加古川線利用者約120名 黒田庄マルシェ(2月25日)：加古川線利用者約240名					
通学自転車を乗せるサイクルトレイン実証実験	地元高校生を対象として、登下校の時間帯に実証実験を行い、安全性の問題点等を検証	—	西脇市、JR西日本	●		
(実施状況・反響・改善点等)	実証実験：10月10日～13日、10月23日～27日 西脇高校生3名 乗降や車内固定については問題無く実施できた。乗せられる自転車は3台程度					
“さあ、加古川線(かせ)を愛そう” 利用促進ウィーク	播州織の中吊りによる車内装飾や啓発ポスターの作成により住民や企業への呼びかけを実施	450千円	西脇市、北播磨県民局	●	●	
(実施状況・反響・改善点等)	実施期間：10月5日～18日 ウィーク中平日と通常平日との輸送密度の比較1.17倍 製作した西脇高校生が地元紙に掲載される等、地域住民への情報発信が実施できた					

令和5年度の取組結果（一覽）

加古川線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
利用実態調査、利用促進活動	利用実態調査と特製クリアファイルなどのハルティ配布を行い鉄道利用促進の呼びかけを実施	—	JR西日本	●		
(実施状況・反響・改善点等)	アンケート獲得数：494（獲得率74%） 今後は鉄道を利用されていない地域方々への利用促進の呼びかけが必要					
JR観光情報誌 西Naviへの掲載	表紙+紙面に西脇市特産品(播州織、播州ラーメン、スイーツ等)の特集を掲載	—	JR西日本		●	
(実施状況・反響・改善点等)	紙面に掲載された店舗より「来店するお客様が増えた」とのコメントがあった					
加古川線利用促進リーフレットの作成	公共交通のメリット、沿線のお役立ち情報、ワンマン列車の乗車方法などを掲載	—	JR西日本	●	●	
(実施状況・反響・改善点等)	製作部数：8,000部 駅頭や沿線自治体施設への配架を実施。引き続き、駅やイベントでの配布を検討					
西脇高校による加古川線NEW路線図作成	西脇高校の協力により、播州織や桃など沿線特産品等を取り込んだ新しい路線図を作成	—	JR西日本	●	●	
(実施状況・反響・改善点等)	従来の路線図に比べ、地域性に富んだ路線図を作成することができ、西脇高校生のマイレール意識を醸成したと考える。					
コミュニティバスのルート延伸	西脇市駅から県立西脇高校までのルートを延伸し、高校生等の利用を促進	—	ウイング神姫	●		
(実施状況・反響・改善点等)	高校生の通学利用を想定したが渋滞により、始業に間に合わない場合があるため、バス利用はほとんどない。令和6年度からのバスダイヤを見直した。					

令和5年度の取組結果（一覧）

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
駅・周辺の活性化に向けた地域の活動家との連携	谷川駅前でのサン・マルシェの開催、神戸新聞「かなしきデブ猫ちゃん」着ぐるみ乗車実施等	—	サン・マルシェ実行委員会		●	●
(実施状況・反響・改善点等)	久下村駅から谷川駅まで着ぐるみによる乗車が可能となり、乗車の様子が神戸新聞社による記事や動画にも取り上げられ、広くPRすることができた。					
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業（県・市町協調事業）	駅周辺の賑わい等を生み出す新たな取組を行う事業者等を対象に事業費の一部を補助	200千円×2	西脇市、丹波市、兵庫県		●	●
(実施状況・反響・改善点等)	①黒田庄駅においてレンタサイクル事業を7月10日から実施。フットパスガイドマップや周辺の観光施設と合わせ自転車の活用による鉄道利用促進策を進めている。(32名利用 うち鉄道利用者20名) ②久下自治振興会がウォーキングイベントや鉄道ジオラマ見学ツアー等を実施。また、日本へそ公園で開催されたサーカスへの参加者の電車代補助など、鉄道利用促進や駅周辺のにぎわいづくりに取り組んだ。(54名利用 うち鉄道利用52名)					
駅舎内お絵かきコーナー	駅に園児等が自由に楽しめるお絵かきコーナー等設置し、人々が集まる賑わいの空間を創出	150千円	北播磨県民局		●	●
(実施状況・反響・改善点等)	リレーマルシェ「黒田庄マルシェ」(2月25日)で子供のお絵かきコーナーを設け、そこでの作品を黒田庄駅に掲示し、子供の親などが集う空間を創出した。(3月)					

令和5年度の取組結果（一覧）

加古川線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
J R 利用促進観光資源周遊事業	J R の列車時刻に合わせ、西脇市ー谷川間の駅を発着点とするハイキング等を実施（11月18日）	300千円	西脇市		●	
（実施状況・反響・改善点等）	参加者数：17名 玉木新雌氏や西脇市の健幸メニューとの連携ほか、工夫して企画したことで参加者からは好評であった。J R を利用しての参加となるため、I C カードが利用できない区間であること等、参加方法の事前説明が必要					
会員企業等へ鉄道利用の呼びかけ	H P 等を活用し、会員企業等へ通勤、出張時等での鉄道利用を呼びかけ利用を促進した。	—	西脇商工会議所、丹波市商工会	●		
（実施状況・反響・改善点等）	・総会で会員企業へ鉄道利用促進を呼びかけ ・利用促進ウィークのチラシ、ポスターの掲示等					
J R 西日本アプリ「WESTER」を活用した沿線情報の集約・発信	沿線でのイベント情報等を、J R 西日本アプリ「WESTER」のおでかけ情報に掲載し、誘客を促進（随時）	—	J R、自治体		●	
（実施状況・反響・改善点等）	西脇市：7件、丹波市：15件のスポットを掲載中					
沿線行事の P R	沿線行事のポスター・パンフレット等を駅に掲出	—	J R、自治体		●	
（実施状況・反響・改善点等）	鉄道利用促進に繋がるイベント等、ポスターやチラシの配架依頼があれば可能な範囲で協力					

令和5年度の取組結果（一覽）

加古川線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
「JRふれあい川俣がだより」を活用したハイキングイベントのPR	駅から出発する川俣がコースを紹介するJRのパンフレットに、西脇市駅出発のコースを掲載	—	JR西日本		●	
(実施状況・反響・改善点等)	実施日：7月29日 参加者数：36名					
日本のへそ夏まつりにおける鉄道利用促進	パーク&ライドでの鉄道利用を促進するため、駐車場利用者に往復切符を配布	100千円	西脇市		●	
(実施状況・反響・改善点等)	実施日：8月26日 鉄道を利用した参加者数：約770名 (天候不良のため運転休止。へそ公園駅から西脇市駅までシャトルバスを運行)					
飛び出せ児童館ちよこつと電車でGO～へそ公園へ親子で遠足に行こう!!～	電車を利用した親子交流教室を実施	—	西脇市		●	
(実施状況・反響・改善点等)	実施日：11月18日 参加者数：58名（子ども36名、大人22名） 子ども対象にしたイベントで、大人（親）も呼び込む事ができた。					
乗って残そう乗車デー	1日集中乗車デーを設定し、地元住民の鉄道維持への想いを広く訴える。また、西脇市駅、谷川駅にメッセージボードを設置し、地域住民の想いを書き込んでもらう。	—	西脇市、丹波市、兵庫県	●	●	
(実施状況・反響・改善点等)	実施日：10月15日 区間：谷川駅～西脇市駅 利用人数：752名 輸送密度：615名 メッセージ：150枚以上					

令和5年度の取組結果（一覽）

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
イベント連携乗車デー	イベントに合わせて、沿線の小中学生やその家族をターゲットに、鉄道と恐竜のコラボ企画を実施することにより、日常利用の啓発を図る。	150千円	西脇市、丹波市、兵庫県、丹波県民局		●	
(実施状況・反響・改善点等)	実施日：10月22日 場所：日本へそ公園駅 内容：出張化石発掘体験会 参加者数：40名 うち26名鉄道利用 駅降車人数：67名					
2次交通の活用（次世代モビリティ）	イベント連携乗車デー開催時に、来客者に対し、最寄駅の日本へそ公園駅から道の駅のまつり会場までの輸送手段として、グリーンスローモビリティ等での移動を提供し、鉄道利用者の増加に繋げる。	600千円	兵庫県	●	●	
(実施状況・反響・改善点等)	実施日：10月22日 場所：日本へそ公園駅と道の駅北はりま田園空間博物館の往復 利用人数：47名					
沿線スポットオフィス	県庁舎以外の施設を活用したスポットオフィスを期間限定で設置。	20千円 (Wi-Fi無料代)	兵庫県	●		
(実施状況・反響・改善点等)	実施日：8月1日～31日 場所：丹波市立やまなみホール 累計利用者：77名					

令和5年度の取組結果（一覧）

加古川線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
<参考：JRの取組>						
ひょうご☆乗り放題パス（兵庫DC）	兵庫県内のJR自由周遊区間内の特急列車の普通車指定席6回（新幹線除く）・普通列車が乗り放題となるきっぷを発売、夢但馬周遊バス「たじまわる」、神戸市営地下鉄「新神戸～三宮」の往復乗車券と兵庫県内JR駅構内のおみやげ店舗やコンビニで利用できるクーポンがセット	—	J R 西日本		●	
（実施状況・反響・改善点等）	実施期間：7月1日～10月2日 乗り放題パス発売、駅構内でのPR、インターネット・新聞広告等					
特別ヘッドマーク掲出（兵庫DC）	兵庫DCを記念して、加古川線の一部列車に兵庫DC特別ヘッドマークを掲出して運行	—	J R 西日本		●	
（実施状況・反響・改善点等）	実施期間：7月1日～9月30日 兵庫DC特別ヘッドマークを掲出して運行					
車内中吊りポスターを掲出（兵庫DC）	車内中吊りポスターの掲出	—	J R 西日本		●	
（実施状況・反響・改善点等）	実施期間：7月1日～9月30日 加古川線内の車内中吊りに、地域の魅力や特産品の紹介ポスター掲出（播州織、日本へそ公園、丹波焼、明石焼、城崎温泉等々）					
鉄道の日 記念イベント in Kakogawa	「鉄道の日」を記念して、各種イベントを開催	—	J R 西日本		●	
（実施状況・反響・改善点等）	実施日：10月14日 WESTER・モバイルICOCAの紹介、鉄道模型走行、子供制服撮影コーナー、輪投げコーナー					

令和5年度の取組結果（一覽）

加古川線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
<参考：全県的取組>						
鉄道の利便性向上に向けた取組	学生等の日常利用や観光での利用が見込まれるサイクルインや、対象路線で未整備となっているキャッシュ決済の導入に向けた調査・検討を実施	5,000千円	兵庫県	●	●	
(実施状況・反響・改善点等)	先行事例事業者へのヒアリング結果を取りまとめた。					
<参考：JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会事業>						
列車内鉄道絵画展	加古川線等沿線地域の園児等を対象に列車や駅をテーマにした絵画を募集し列車内絵画展を開催	協議会予算の範囲内	交通事業者、商工会議所、商工会、市町、県ほか		●	
(実施状況・反響・改善点等)	応募913点(うちJR316点)、入賞者15名 列車内に作品を展示し、本人、家族等への鉄道利用が図られた。					
鉄道利用促進事業	西脇市ー谷川間の駅を発着点とするハイキングイベントを実施	協議会予算の範囲内	交通事業者、商工会議所、商工会、市町、県ほか		●	
(実施状況・反響・改善点等)	日本へそ公園駅、本黒田駅スタートの2コースで10月14日に開催。参加者50名。行程に電車利用区間を設けた。開催後のアンケートでは、参加者の8割以上の方から、今後北播磨・丹波に来る際は、加古川線を利用したいとの回答を得た。					
鉄道沿線ガイドの作成	鉄道沿線で開催されるイベント等の魅力情報を掲載したガイドの発行	協議会予算の範囲内	交通事業者、商工会議所、商工会、市町、県ほか		●	
(実施状況・反響・改善点等)	発行年4回（季刊）					
<参考：丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会>						
モバイルスタンプラリー	久下村駅や丹波竜化石工房ちーたんの館などJR加古川線沿線等も含め、丹波市、丹波篠山市内で実施（10月14日～11月26日）	1,250千円	自治体、商工会、観光協会、民間団体等		●	
(実施状況・反響・改善点等)	ラリー参加者：2,129名 総スタンプ数：7,403個（うちJR久下村駅412個、ちーたんの館745個）					83

令和6年度の取組一覧

加古川線WT

令和6年度の取組（一覧）

加古川線

	項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
					日常利用	観光需要	まちづくり
市	【新】加古川線全線開業100周年記念事業	記念セレモニーやトークショー、ラッピング列車の運行、記念グッズ作成等を実施	6,600千円	西脇市、丹波市		●	
市・県	【継】加古川線利用促進ウィーク	播州織中吊りの車内掲示等による鉄道利用の呼びかけ 地元高校生等による文化祭等イベントの開催	1,750千円	西脇市、北播磨県民局	●	●	●
市	【新】加古川線利用助成事業	学校園等が加古川線を利用して行う社会学習活動や団体利用する場合の運賃を助成	1,350千円	西脇市、丹波市	●	●	
市・県	【継】JR加古川線リレーマルシェ	駅周辺でのマルシェを開催 西脇市区域、丹波市区域でそれぞれ実施	2,579千円	地元自治会 県民局 他		●	●
市	【継】通学定期券購入補助 【新】通学定期券購入者自転車貸出事業	通学定期券を購入費用の一部を助成。また、定期券購入者へ自転車の無償貸出を行い、駅からの二次交通を確保	4,638千円	西脇市、丹波市	●		
県	【継】我が町考え隊事業の推進	heso city clubを中心に地域活性化策を展開。 情報発信、地域住民の方とのミーティングやマルシェを開催	700千円	北播磨県民局			●
市・県	【新】JR加古川線（西脇市駅－谷川駅）維持・利用促進地域協議会の発足	住民への鉄道利用の呼びかけ、鉄道利用促進事業の実施 構成：黒田庄まちづくり協議会・比延地区自治協議会・久下自治振興会	1,000千円	加古川線(西脇市駅-谷川駅間)維持・利用促進地域協議会			●
市・県	【新】駅周辺の活性化に向けた地域団体等との連携	地域団体が主催するイベントと連携した広報及びJRを利用したイベント参加者へのノベルティ配布	—	西脇市、丹波市、県民局		●	●
事業者	【新】兵庫DCアフターキャンペーン	JR西日本と沿線自治体、地元観光業者、旅行会社等が一体となった観光キャンペーン	—	JR西日本、各自治体		●	
JR	【新】特急列車を谷川駅臨時停車する実証実験	谷川駅で対向列車の待ち合わせのために停車している一部の「特急こうのとり」に乗降できる実証実験の実施	—	JR西日本	●	●	

令和6年度の取組（一覧）

加古川線

	項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
					日常利用	観光需要	まちづくり
市	【継】サイクルトレインの実現	自転車を列車内に持ち込むサイクルトレインについて、実現に向けて検討を進める。	－	西脇市	●		
県	【新】久下村駅周辺環境整備 検討会議	久下村駅周辺の恒常的な賑わいを創出するため、駅周辺環境整備の検討会議を関係機関とともに開催	19千円	丹波県民局 丹波市 久下自治振興会	●	●	●
	【新】企業の森づくり体験	「サントリー天然水の森ひょうご西脇門柳山」での取り組みを紹介やイベント等の開催	1,500千円	西脇市 北播磨県民局		●	
市・県	【継】JRローカル線駅周辺活性化モデル事業（県・市町協調事業）	「JRローカル線駅周辺活性化モデル事業」において、駅周辺の賑わい等を生み出す新たな取組みを行う事業者等を対象に、事業費の一部を補助（補助率1/2、上限200千円）	200千円×2	兵庫県 西脇市 丹波市		●	●
事業者・団体等	【継】コミュニティバス(おりひめバス)のダイヤ改正	始発バスの出発時刻を早めて、渋滞などによる到着時刻の遅れを少なくし、乗り換えを円滑にして、高校生等の利用を促進	－	ウイング 神姫	●		
	【継】会員企業等へ鉄道利用の呼びかけ	HP等を活用し、会員企業等へ通勤、出張時等での鉄道利用を呼びかけ利用を促進する。	－	西脇商工会議所、 丹波市商工会	●		
	【継】沿線地域ならではの観光コンテンツの活用	観光客誘致のため、沿線地域で地元ならではの体験コンテンツ等を発見、開発し、鉄道での誘客・利用促進につなげる。（要請があれば協力可能）	－	神姫バス （行政・地元住民が主体）		●	

令和6年度の取組（一覧）

加古川線

	項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
					日常利用	観光需要	まちづくり
事業者・団体等	【継】JR西日本アプリ「WESTER」を活用した沿線情報の集約・発信	沿線でのイベント情報等を、JR西日本アプリ「WESTER」のおでかけ情報に掲載し、誘客を促進	—	JR、自治体		●	
	【継】沿線行事のPR	沿線行事のポスター・パンフレット等を駅に掲出	—	JR、自治体		●	
＜参考：加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会事業（西脇市一谷川間関係）＞							
	【継】列車内鉄道絵画展	加古川線等沿線地域の園児・児童を対象に列車や駅をテーマにした絵画を募集し列車内絵画展を開催	協議会予算の範囲内	交通事業者 商工会議所 商工会 沿線市 県 ほか		●	
	【継】鉄道利用促進事業	駅を発着点とするハイキング等沿線地域の魅力を体験できるイベントを実施				●	
	【継】鉄道沿線ガイドの作成	鉄道沿線で開催されるイベント等の魅力情報を掲載したガイドの発行				●	
＜参考：丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会＞							
	【継】モバイルスタンプラリー	久下村駅などの加古川線沿線等も含めた恐竜化石及び篠山層群にゆかりの地をめぐるモバイルスタンプラリーを実施	協議会予算の範囲内	自治体、 商工会、 観光協会、 民間団体等		●	
	【新】恐竜化石&里山体験ツアー	久下村駅を発着点として恐竜化石発掘現場での学びや里山の環境保全体験のツアーを7月25日(木)に実施				●	

令和5年度の取組結果一覧

姫新線WT

令和5年度の取組結果（一覧）

姫新線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
たつの市姫新線周辺駐車場等使用料助成事業	駐車場、駐輪場の月極使用料の全部または一部助成	2,477千円	たつの市	●		
(実施状況・反響・改善点等)	申請数：196名（令和4年度：153名） 昨年度に比べ申請数が増加。今後も継続的な事業実施が必要					
佐用町姫新線等鉄道利用促進事業	①佐用町大学生等通学定期券購入助成事業 大学生等の通学定期券購入費用を助成 ②鉄道利用促進のための乗車券支給事業 鉄道利用者へ片道分の乗車券を支給	①8,000千円 ② 600千円	佐用町	●		
(実施状況・反響・改善点等)	①申請件数：71名 卒業者の追跡調査や効果的なPR方法の検討が必要 ②申請件数：169件 利用人数：631名 他の利用促進策と連携し、制度のさらなる周知、利用向上を図る					
兵庫デスティネーションキャンペーン	ひょうご☆乗り放題パス、姫新線特別ヘッドマーク、龍野北高校による中吊り広告の製作等を実施	—	JR西日本、兵庫県、沿線自治体		●	
(実施状況・反響・改善点等)	「食」「体験」をテーマに実施した兵庫DCならではの多彩な取組を多くのメディアに取り上げられると共に、様々な主体の連携が進み、今後の展開が期待できる					
WESTERおでかけスポット・イベント登録	移動生活ナビアプリへのおでかけスポット・イベント登録の実施	—	JR西日本、沿線自治体		●	
(実施状況・反響・改善点等)	たつの市：スポット4件、イベント6件の情報発信を実施					

令和5年度の取組結果（一覧）

姫新線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
西播磨ドローンレース大会	姫新線沿線でドローンレース大会を実施	400千円	西播磨県民局		●	
(実施状況・反響・改善点等)	参加人数：70名（うち姫新線利用者12名） 佐用町内での全児童へのチラシ配布、防災無線での告知を実施					
駅カード作成	広域デジタルスタンプラリーの開催に合わせて、播磨新宮駅から上月駅間の駅カードを配布	同盟会予算	姫新線利用促進・活性化同盟会 (西播磨県民局)		●	
(実施状況・反響・改善点等)	配布枚数：播磨新宮駅194セット、佐用駅216セット、上月駅74セット ※播磨新宮駅：播磨新宮駅・千本駅・西栗栖駅の3駅分を配布 ※佐用駅：佐用駅・三日月駅・播磨徳久駅の3駅分配布 神戸新聞や読売新聞などのメディアに掲載された。					
沿線施設等への県産木材製サイクルスタンドの導入	鉄道と自転車の一体的な利用や県産木材利用の促進を図るため沿線施設等にサイクルスタンドを導入	1,000千円	西播磨県民局			●
(実施状況・反響・改善点等)	市町との連携により、沿線の様々な施設に設置できた。 引き続き、市町観光部局等とも連携した取組を続けていく					

令和5年度の取組結果（一覧）

姫新線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
姫新線を利用した遠足等のお菓子助成事業	姫新線を利用して遠足等を実施する市内の保育園・所こども園に幼児のお菓子（1人につき200円程度）を支給	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）	●		
（実施状況・反響・改善点等）	○申請実績：4件（159名） ○小学生まで拡充して実施することを検討。					
ひまわり祭りでの利用啓発展示とミニSLの運行	ひまわり祭り（7月15日～7月30日）にて以下の取り組みを実施 ①姫新線利用啓発展示 ②ミニSLの運行（7月23日）	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（佐用町）	●	●	
（実施状況・反響・改善点等）	【実施期間】7月15日～7月30日 【参加人数】（ミニSL乗車）述べ388名 ○会場内の利用啓発展示に足を止める方も多く、一定の意識醸成の効果があった。 ○ミニSLの待ち時間に利用啓発展示を見てもらうよう配置し、意識醸成を図った。 ○一方で、実際に姫新線を利用してもらうような働きかけについては今後の課題。					
姫新線WTでの利用促進策に取り組む地元高校生等への支援	龍野北高校(総合デザイン科)生徒が制作する「姫新線乗車率向上PRポスター」の費用の一部を支援	200千円	西播磨県民局	●		
（実施状況・反響・改善点等）	○地元高校生が自ら取り組むことが注目され、テレビ取材を受けた。 ○沿線のスーパーや自治会等、沿線住民の目に触れやすい場所へ配布した。					
姫新線沿線風景等を題材とした「映像コンテスト」の開催	姫新線沿線の観光地や鉄道等を題材とした「映像コンテスト」を開催し、入賞作品を姫新線利用促進活性化同盟会HP等で活用	300千円	西播磨県民局	●	●	
（実施状況・反響・改善点等）	○応募件数：①ショートムービー部門：22件、②一般動画部門：12件 ○受賞作品を同盟会HPに掲載する等、効果的な発信をしていくことが今後の課題。					

令和5年度の取組結果（一覧）

姫新線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
県民局職員による 「月イチ！姫新線乗車大作戦」	西播磨県民局職員及びその家族に対し、月1回以上の姫新線利用を呼びかける取組みを実施	—	西播磨県民局	●		
(実施状況・反響・改善点等)	【実施時期】11月10日～ ○公用・私用を問わず幅広い機会での利用を呼びかけ、意識醸成が図られた。 ○今後も取組を継続し、定着させていくことが重要					
沿線の高校生による利用促進活動	生徒による利用促進活動を佐用高校に働きかけ、その活動を支援（例：家政科生徒による利用促進PRグッズの作製・配布等）	—	佐用町	●		
(実施状況・反響・改善点等)	【実施日】①12月17日 ②2月3日 【来店者数】①約70名 ②約120名 ○駅周辺活性化モデル事業で佐用高校生による「高校生カフェ」が採択され、この枠組みの中で、利用促進活動を実施。姫新線利用者には特典として高校生の手作りクッキーや姫新線の駅名キーホルダーを配布し、PRを行った					
会員事業所への利用依頼及びHP等による広報活動	会員事業所に鉄道利用を促すチラシを配布するとともに、HPに掲載することで事業所（通勤者）の鉄道利用を促進	—	たつの市商工会	●		
(実施状況・反響・改善点等)	【期間】7月14日～ 【配布数】会員の705事業所 ○情報発信が主となる取組のため効果は不明だが、継続的に実施していく方針。 ○効果が得られるような取組みとしていくことが今後の課題。					
会員事業所への利用依頼及びHP等による広報活動	会員470事業所へのDM発送、ホームページ等による姫新線利用の呼びかけを実施	—	佐用町商工会	●		
(実施状況・反響・改善点等)	○来年度は、DMの回数等を増やすことを検討する。					

令和5年度の取組結果（一覧）

姫新線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
駅施設管理事業	たつの市内の以下の2駅について、周辺施設の整備を実施 ○西栗栖駅 駐車場整備（舗装）A=350㎡ ○播磨新宮駅 駐輪場整備（屋根設置）A=165㎡	34,200千円	たつの市	●		
(実施状況・反響・改善点等)	(1) 西栗栖駅駐車場整備 【施工完了日】6月20日 【駐車台数】車：11台 (2) 播磨新宮駅駐輪場整備 【施工完了日】令和6年3月15日 【駐輪台数】自転車：180台					
オリジナル車内路線図	H20年度から龍野北高校総合デザイン科の生徒のデザインによる「姫新線路線図」を車内に掲出（年1回更新）。	—	JR西日本、龍野北高校	●	●	
(実施状況・反響・改善点等)	【実施結果】全17種類を掲出 ○例年、神戸新聞などのメディアに掲載されている。 ○長年の実績と連携から兵庫DCの中吊りポスター制作を依頼。					
佐用高校生徒会との乗車マナー向上の取組み	佐用高校生徒会と運転士が乗車マナーについて意見交換を行い、教員立会いの下、生徒会メンバーと運転士によるマナー向上の声かけを実施。	—	JR西日本、佐用高校	●		
(実施状況・反響・改善点等)	【実施時期】10月25日～11月1日のうち6日間 ○ユーザーである佐用高校の生徒会と一緒に、佐用駅で姫新線の乗車マナー向上等の取組みを行うことができた。 ○今後の取組みに向けて意見交換を検討中。					
沿線高校定期テスト期間に車両増結運行	姫新線沿線の高校生のテスト期間やテスト前のクラブ活動がない期間等、利用が集中する時間帯に合わせて、車両増結を実施。	—	JR西日本	●		
(実施状況・反響・改善点等)	【実施時期】継続中（その都度対応）					

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
イベント列車の運行	姫新線と沿線地域の地域資源を結ぶユニークな沿線イベントを実施 ①金出地ダム等見学ツアー ②西はりま天文台「なゆた望遠鏡」による星空観察ツアー	637千円	西播磨県民局		●	
(実施状況・反響・改善点等)	実施日：①8月20日 ②12月16日 参加人数：①12組30名 ②35名 ○参加者の約9割が「また姫新線に乗りたい」と答えるなど、リピーター獲得の可能性につなげた。 ○今後も継続的に姫新線を利用してもらう仕掛けづくりが今後の課題。					
JRローカル線 維持・利用促進事業 (県・町協調事業)	兵庫県の実施する「JRローカル線 維持・利用促進事業」に協調し、市町の役割分担分を負担	600千円 81千円	佐用町 姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
(実施状況・反響・改善点等)	実施期間：8月1日～9月11日（デジタルスタンプラリー） ○デジタルスタンプラリーの賞品に、姫新線沿線自治体として特産品を提供し、参加者にPRを行った。					
屏風岩・鶴嘴山里公園ハイキング	東鯨崎駅を出発し、因幡街道の宿場町の歴史に触れながら、寝釈迦の渡し・磨崖仏等のスポットを巡る冬の里山ハイキング	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
(実施状況・反響・改善点等)	実施日：令和6年2月3日実施 参加者：65名（定員200名） ○参加条件として、姫新線を利用して参加する事にした結果、地元住民の参加が出来なくなった。 ○より多くの方に参加いただけるよう検討する。					

令和5年度の取組結果（一覧）

姫新線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
<p>鶯崎・千本街道イベント</p> <p>(実施状況・反響・改善点等)</p>	<p>東鶯崎駅を出発し、姫新線に乗車して千本駅のあたりを巡るウォーキングイベント</p> <p>実施日：10月28日 参加人数：46名（定員50名）</p> <p>○多くの参加者が姫新線で来場し、イベント内でも姫新線を利用することとあわせて、地域の魅力を感じてもらうことができた。</p> <p>○沿線の他のスポット等で今後同様のイベントを開催し、地域の魅力を発信するとともに、姫新線利用を促進する必要がある。</p>	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
<p>佐用町内を巡るツアー</p> <p>(実施状況・反響・改善点等)</p>	<p>沿線の観光施設を巡るツアーを実施</p> <p>①南光ひまわり祭りに合わせて沿線観光施設巡り</p> <p>②栗ひろいや周辺の観光施設など秋満喫ツアー</p> <p>実施日：①7月20日 ②10月7日 参加人数：①13名 ②49名</p> <p>○いずれのイベントでも姫新線の現状課題を参加者に共有し、課題意識の向上につながった。</p> <p>○一方で、継続的に姫新線を利用してもらうような働きかけについては今後の課題。</p>	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（佐用町）		●	
<p>姫新線を活用した観光振興 「SAKU美SAKU楽で行く姫新線沿線の旅」</p> <p>(実施状況・反響・改善点等)</p>	<p>通常岡山駅～津山駅間を運行する観光列車「SAKU美SAKU楽」を、限定的に姫新線を走らせる形で沿線自治体を巡るツアーを企画（日本旅行が造成・販売）</p> <p>○計10本のツアーを実施。</p> <p>○募集定員30名に対して定員を超える申し込みが2回あるなど、想定以上の参加者を募ることができた。</p> <p>○沿線の各自治体が連携しツアーを企画して横のつながりが生まれたことで、今後の展開が期待できる。</p> <p>○造成したツアーを活かして、今後利用促進・にぎわい創出につなげる継続的な取組を検討する必要がある。</p>	9,716千円	岡山県		●	

令和5年度の取組結果（一覧）

姫新線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
JRふれあいハイキング	駅から出発するハイキングコースをご紹介（地域の観光スポットを徒歩で巡る）	—	JR西日本		●	
（実施状況・反響・改善点等）	実施日 ①12月1日：うすくち醤油発祥の地を歩く（12名） ②2月25日：小京都「たつの巡り」（33名）					
西播磨ビジコン・ビジマッチ	地域課題をビジネスで解決すること等をめざす「ビジネスプランコンテスト」において、姫新線等の公共交通の利用促進を含めたプランを特別賞の対象として募集	4,950千円	西播磨県民局（西播磨ビジコン・ビジマッチ実行委員会）			●
（実施状況・反響・改善点等）	募集期間：6月26日～8月31日 応募総数：57件 ○12月9日に1・2次審査を通過した11組による決勝大会を開催し、賞を決定。 ○提案事業の姫新線利用促進施策への横展開等が今後の課題。					
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業（県・市町協調事業）	兵庫県と沿線市町が実施する「JRローカル線駅周辺活性化モデル事業」により、駅周辺活性化の取り組みを行う事業者、地域団体等に対し、事業費の一部を補助 ○補助額：10～20万円/件（県：市町＝1：1で負担）	200千円 200千円 400千円	たつの市 佐用町 西播磨県民局			●
（実施状況・反響・改善点等）	募集期間：7月14日～8月31日 応募件数：4件 ○公募のうえ審査会で4件（たつの市内2件、佐用町内2件）を採択。 ○多様な取組によりにぎわい創出に寄与した。					
姫新線ファンクラブの創設	姫新線ファンクラブを創設し、マイレール意識の醸成等を図るとともに、地域団体等の活動を支援	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（西播磨県民局）			●
（実施状況・反響・改善点等）	○広く愛されるファンクラブ（企業含む）の創設に向けて調整中					

令和6年度の取組一覧

姫新線WT

令和6年度の取組（一覧）

姫新線

	項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
					日常利用	観光需要	まちづくり
市町	【継】 たつの市姫新線駅周辺駐車場等使用料助成事業	駐車場、駐輪場の月極使用料の全部または一部助成	3,488千円	たつの市	●		
	【継】 佐用町姫新線等鉄道利用促進事業	①佐用町大学生等通学定期券購入助成事業 ②鉄道利用促進のための乗車券支給事業	①8,000千円 ② 800千円	佐用町	●		
市町・JR	【継】 WESTERへの情報集約	移動生活ナビアプリへのおでかけスポット・イベント登録の実施	—	JR西日本		●	
	【継】 姫新線車内路線図	龍野北高校総合デザイン科生徒による沿線の特産品などをデザインした車内路線図の作成	—	JR西日本、龍野北高校		●	
	【新】 兵庫DCアフターキャンペーン	JR西日本と沿線自治体、地元観光業者、旅行会社等が一体となった観光キャンペーン	—	JR西日本、各自治体		●	
	【新】 南光ひまわり祭りでのおもてなし（播磨徳久駅・姫路駅）	姫新線ご利用のお客様への一日駅長(姫路駅)によるお見送り、名誉駅長(播磨徳久駅)と佐用町商工会合同お迎え	—	JR西日本、佐用町		●	
県	【新】 姫新線ランタン祭り	姫新線沿線にて夜空にLEDライトで光るランタンを浮かべて幻想的な雰囲気を楽しむ「ランタン祭り」を実施	545千円	西播磨県民局		●	
	【新】 姫新線で行くフィールドパビリオン体験ツアー	沿線地域のフィールドパビリオン体験ツアーを実施し、姫新線のPR及び利用促進を実施し、万博に向けた機運醸成を図る	212千円	西播磨県民局		●	

令和6年度の取組（一覧）

姫新線

	項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
					日常利用	観光需要	まちづくり
市町	【新】 播磨新宮駅照明設備更新	播磨新宮駅構内の照明のLED化を実施。	7,000千円	たつの市	●		
	【継】 利用啓発垂れ幕作成	播磨新宮駅、本竜野駅にて日常利用している方に向けて乗車人数と感謝を伝える横断幕の作成。			●		
	【継】 姫新線を利用した遠足等のお菓子助成事業	姫新線を利用して遠足等を実施する市内のこども園に園児のお菓子（1人につき200円程度）を支給する。			●		
	【継】 地域イベントでのPRブースの出店	姫新線沿線地域のイベントにおいてPRブースを出店し、来場者に姫新線をPRする。			●		
	【継】 たつの市民まつりにおけるPRブースの出店	たつの市民まつりにおいて、姫新線クイズや、利用啓発パネルを掲示し、来場者に姫新線をPRする。			●		
	【継】 利用啓発卓上のぼりの作成	卓上のぼりを作成し、庁舎内で設置することで、職員及び来庁者に姫新線の利用促進をPRする。	姫新線利用促進・活性化同盟会予算で実施	姫新線利用促進・活性化同盟会 (たつの市)	●		
	【新】 姫新線に乗っていちご狩り&城下町散策ツアー	本竜野駅から「慶いちご農園」へ移動し、40分間のいちご狩りを行う。その後「下川原蔵あかね」へ移動し、城下町の自由散策を行う。				●	
	【継】 屏風岩・鶴嘴山里公園ハイキング	JR東鯨崎駅を出発し、因幡街道の宿場町の歴史に触れながら、寝釈迦の渡し・磨崖仏等のスポットを巡る冬の里山ハイキングを実施する。				●	
	【継】 姫新線乗降客数調査業務委託	姫新線の各駅における乗降客数を調査し、列車ごとの利用状況を整理することにより、「姫新線利用促進・活性化同盟会」が主体となって実施している利用促進事業等の効果を把握するとともに、今後の施策展開へ活かす。					●

令和6年度の取組（一覧）

姫新線

	項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
					日常利用	観光需要	まちづくり
市町	【新】高齢者福祉と連携した平日昼間時間帯の利用促進活動	平日昼間時間帯の利用が見込める定年後の高齢者等が定期的に複数人で鉄道を利用して出掛けるといった活動を展開していくための基礎的な検討（企画人材の確保、イベントの試行、調査）を実施する。	100千円	佐用町	●		
	【新】沿線事業所に対する効果的な情報提供と利用意識醸成	駅から徒歩や自転車で通勤可能な姫新線沿線事業所に対し、佐用町商工会と連携して姫新線の利用やPRについて協力を依頼。今後の効果的な利用促進施策に繋がる基礎的な検討を行う。	100千円		●		
	【新】まちづくり会議での鉄道利用促進策の検討・意識醸成	人口減少を受け入れ、規模は縮小しても充実していると感じることのできる生活形態を目指す「縮充」の考え方をテーマに掲げ、将来的なまちづくりの検討を進める上で、若者も含めて将来のまちづくりを考える「ミライカイギ」を開催する予定。その場でまちづくりと絡めた鉄道利用促進策の検討、小中学生や高校生等を対象とした意識醸成等を図る。	100千円				●
	【継】沿線の高校生による利用促進活動（佐用高校）	生徒による利用促進活動を佐用高校に働きかけ、その活動を支援する。 （例：利用啓発ポスターや横断幕の作成等）	姫新線利用促進・活性化同盟会予算で実施	姫新線利用促進・活性化同盟会 （佐用町）	●		
	【継】佐用町内を巡るツアー	沿線の観光施設を巡るツアーとして、秋期に栗ひろいや周辺の観光施設など秋を満喫するツアーを実施する。				●	

令和6年度の取組（一覧）

姫新線

	項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
					日常利用	観光需要	まちづくり
県	【継】 姫新線の利用促進策に取り組む地元高校生等への支援	姫新線の主たる利用者である「地元高校生等」が取り組む姫新線の利用促進に資する取組みを支援する。	200千円	西播磨 県民局	●		
	【継】 県民局職員による「月イチ！姫新線乗車大作戦」の推進	姫新線利用促進の取組みを推進していくため、県民局職員に対し、月1回以上の姫新線乗車を呼びかける。	—		●		
	【継】 姫新線沿線活性化としての「ドローンレース大会」の実施	姫新線沿線の活性化を図るため、ドローンレース大会を姫新線沿線で開催する。姫新線を利用して来場した方に特典を進呈するなど、利用促進を図る。今年度は以下の拡充を検討。 ・高校生の部を新設(土木・農業系学科の生徒等) ・市町主催のイベント等と連携し、集客増を図る	400千円			●	
	【継】 イベント列車の運行	姫新線と沿線地域の地域資源を結ぶユニークな沿線イベントを実施し、沿線地域外に対する姫新線のPRや認知度向上を図る。	425千円			●	
	【新】 JR姫新線映像コンテスト受賞作品デジタルサイネージ	昨年度開催した「JR姫新線映像コンテスト」の受賞作品をデジタルサイネージとして活用する。			●		
	【新】 サイクルトレインの実証実験	自転車を折りたたまずに列車の車両に乗せるサイクルトレインの実施に向けて実証実験等を検討する。	姫新線利用促進・活性化同盟会予算で実施			●	
	【継】 姫新線ファンクラブ	SNSの「X」で作成した姫新線ファンクラブのアカウントをフォローすることで、姫新線ファンクラブの会員とする形式で、姫新線に関する情報を随時発信し、親しみを持ってもらえるように運用する。					●

令和6年度の取組（一覧）

姫新線

	項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
					日常利用	観光需要	まちづくり
市町・県	【継】JRローカル線駅周辺活性化モデル事業 (県・市町協調事業)	駅周辺活性化の取り組みを行う事業者、地域団体等に対し、事業費を補助する。 ○ 補助対象 駅舎や駅周辺の遊休不動産等を活用した賑わい創出に資する取組等 ○ 補助上限額 200千円 ○ 負担割合 県：市町 = 1：1	200千円 200千円 200千円	たつの市 佐用町 西播磨県 民局		●	
	【継】JR姫新線の利用促進策について検討・実施	岡山県JR在来線利用促進検討協議会内に設置された、JR姫新線沿線自治体と岡山県、JR西日本岡山支社で構成する姫新線WTにおいて、JR姫新線の利用促進策について検討するとともに、有効な施策を実施する。現在は令和6年度事業を検討中。	2,000千円	岡山県JR在来線利用促進検討協議会	●		
事業者・団体	【継】会員事業所への利用依頼及びHPによる広報活動	会員事業所に鉄道利用を促すチラシを配布するとともに、HPに掲載することで事業所（通勤者）の鉄道利用を促進する。	商工会予算で実施	たつの市 商工会	●		
	【継】会員事業所への姫新線利用呼びかけ	商工会HP、Facebook等のSNS及び会員へのDM発送により姫新線利用の呼びかけを実施する。	—	佐用町商 工会	●		
	【継】駅施設へのポスター・チラシ掲出	鉄道利用促進に繋がるイベント等、ポスターやチラシの配架依頼があれば可能な範囲で協力する。	—	JR西日本 各自治体	●		

令和5年度の取組結果一覧

播但線WT

令和5年度施策の実施結果等（一覧）

播但線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
JR利用促進補助金（3制度）	①特急はまかぜ利用促進補助金、②JR播但線利用促進補助金、③遠距離通勤・通学等補助金	10,800千円	神河町	●		
（実施状況・反響・改善点等）	申請状況：①226件667,280円 ②773件1,588,500円 ③235件3,247,740円 補助制度ができたので、JR利用したという意見もある					
駅前カーシェア事業	二次交通カーシェア車両として電気自動車2台を配備	3,400千円	神河町		●	
（実施状況・反響・改善点等）	利用状況：寺前駅14回 長谷駅7回 利用増を図るため、観光客等に対するPR方法を検討する必要がある					
特急はまかぜ利用者専用パーク&ライド駐車場	特急はまかぜを利用する市民が駐車場を事前予約により無料で利用	416千円	朝来市	●		
（実施状況・反響・改善点等）	実施結果：生野駅93件 和田山駅186件 市による情報発信や利用者による口コミ効果により多くの市民が利用					
市民意識の醸成と地域が主体となった利用促進	地域自治協議会等によるイベント、まちづくりフォーラム、公共交通ワークショップ、駅周辺活性化事業	—	朝来市	●		●
（実施状況・反響・改善点等）	実施結果：まちづくりフォーラム 市内11会場 708名参加 公共交通ワークショップ 市内2会場 46名参加 多くの市民参画を得て、市民意識の醸成に繋がった。					

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
播但線鉄道整備・利用促進協議会の取組強化	協議会の機能強化を図りながら、利用促進部会を中心に利用促進策を講じる。	—	播但線鉄道整備・利用促進協議会	●	●	●
(実施状況・反響・改善点等)	利用促進部会を2回開催し、利用促進策を取りまとめ、協議会に提案 福崎町キャラクター「ガジロウ」を使った広報戦略などを実施					
夢但馬周遊バス「たじまわる」の運行	JR各駅と観光地を結ぶ二次交通を確保	15,278千円	但馬観光協議会		●	
(実施状況・反響・改善点等)	実施期間：4月1日～3月31日 利用人数：2,412名(前年度比+323名) DCによるPR効果が乗車人数の増加に繋がった					
WESTERへの情報集約	移動生活ナビアプリへのおでかけスポット・イベント登録の実施	—	JR西日本、沿線自治体		●	
(実施状況・反響・改善点等)	実施結果：寺前駅～和田山駅間 14スポット、2イベントを掲載 引き続き、WESTERのサービス拡充と利用者の増加を目指す					
兵庫DCを契機としたイベント列車	イベント列車の運行	—	JR西日本、沿線自治体、兵庫県		●	
(実施状況・反響・改善点等)	実施結果 サロンカーなにわ：9月28日、29日 「銀の馬車道・鉱石の道」サイクルトレイン：9月10日 沿線住民らによるおもてなしにより、多くの観光客が楽しんだ					

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
長谷駅連絡道路舗装修繕工事	長谷駅進入道路の舗装修繕工事	5,000千円	神河町	●		●
(実施状況・反響・改善点等)	12月13日着工、21日舗装・外側線工事完了					
カラーマンホール設置事業	ゆるキャラをデザインしたカラーマンホールを新野駅・寺前駅前に設置	867千円	神河町		●	
(実施状況・反響・改善点等)	9月に新野駅、寺前駅前に設置（令和4年度：長谷駅前設置）マンホールカードを作成し、7月28日から村営ふれあいマーケット長谷店で配布⇒カード収集のために遠方からも来客がありJR利用に繋がっている。					
長谷駅利用促進業務等委託事業	『長谷地区の振興を考える会』に長谷駅の利用促進を図るための事業実施を委託	1,200千円	神河町			
(実施状況・反響・改善点等)	① JR長谷駅利用促進 毎月13日に長谷駅からJR播但線を利用 ② 長谷地区のイベント実施時のJR利用参加者へ割引券を配布 実施日：6月10日 犬見川ほたる祭り 7月16日 長谷納涼祭 など JR播但線利用者に長谷地区のイベントで使用できる割引券を配布 ③ 第9回長谷駅を「私たちが守ろう」紅葉ウォーキング 実施日：11月23日 長谷駅乗車～生野駅下車、生野駅から長谷駅までウォーキング 参加者：193名				●	●

令和5年度施策の実施結果等（一覧）

播但線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
特急はまかぜ利用促進補助金	特急はまかぜの利用者に対する補助金	930千円	朝来市	●	●	
(実施状況・反響・改善点等)	利用実績：個人639件、団体8件					
JR播但線団体利用促進補助金	普通列車を4人以上で利用した場合に支給	108千円	朝来市	●	●	
(実施状況・反響・改善点等)	利用実績：8件小学校の課外授業や地域団体が利用					
公共交通通勤利用助成金（補助金・奨励金）	通勤時の鉄道、路線バス定期利用者又は企業等に対して支給する補助金・奨励金	729千円	朝来市	●		
(実施状況・反響・改善点等)	利用実績：8件市内各駅に近い企業等へのPRが不足					
情報発信	ケーブルテレビや市広報誌、SNSなどの情報媒体を使った情報発信	—	朝来市	●		●
(実施状況・反響・改善点等)	市の広報媒体を使った情報発信および各種助成制度の一覧表を市民に配布 市公共交通情報誌「あさごナビ」の普及・啓発が重要					
利用促進	市民・行政・交通事業者の3者が一体となった利用促進（市職員による利用促進の取組など）	—	朝来市	●	●	
(実施状況・反響・改善点等)	三位一体で利用促進に取り組んでいる。					

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
公共交通アンケート	公共交通に関する現状やニーズ等を把握し、新たな公共交通体系の確立に向けた全世帯を対象にした市民アンケートを実施（6月実施）	7,000千円	朝来市	●	●	●
（実施状況・反響・改善点等）	市内全戸配布（11,917枚）により、公共交通に関するアンケート調査を実施 アンケート調査結果は、市の公共交通体系の再編方針決定の際に活用					
駅周辺駐車場利用料金助成事業補助金	JRの通勤定期券を購入し、市内駅周辺の月極駐車場を利用する市民に対する駐車場利用料金の補助（1カ月当たり、上限3,000円）	360千円	朝来市	●		
（実施状況・反響・改善点等）	利用実績：1件（3月末時点） 市民への周知不足が浮き彫りになったため、周知方法について検討を行う。					
JR竹田駅駐輪場屋根設置工事	JR竹田駅駐輪場に利用者の利便性向上を目的に屋根を設置	1,200千円	朝来市	●		
（実施状況・反響・改善点等）	11月26日～供用開始					

令和5年度施策の実施結果等（一覧）

播但線

項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
鉄道利用促進但馬キャンペーンの展開	駅と主要観光地のデジタルスタンプラリーの実施及び期間中に但馬をイメージしたキャラクター等のラッピング列車を運行	3,000千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会			
(実施状況・反響・改善点等)	令和6年2月23日～9月23日に開催、対象駅及び観光地のほかグッズ配布が決定 JR等と連携して広報活動を実施 実施結果（令和6年2月23日～5月31日現在） ・参加者数 4,848人 ・駅別ゲームプレイヤー訪問者数前年同期比（2月-5月） 216% ・観光スポット別訪問者数（延数） 18,887人				●	
レンタサイクル利用補助事業	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者の2次アクセスを充実	450千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会			
(実施状況・反響・改善点等)	遠方から来たことが分かる切符の提示で最大全額無料 利用者：1,217人（期間：8月5日～11月30日） 電車での観光に便利、次回も利用したい、継続してほしい等の感想が多かった。				●	
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業補助金	駅周辺の賑わい等を生み出す新たな取組みを行う事業者等を対象に、事業費の一部を補助（補助率1/2、上限200千円）	200千円×2	兵庫県（自治体協調）			
(実施状況・反響・改善点等)	生野高等学校、寺前駅前銀座商店会の2団体を採択 【生野高等学校】 実施日：①12月16日 ②3月2日 来場者数：①名150名 ②約130名 JR生野駅前にて、キッチンカーや高校生企画の催しイベントを実施 一部ブースが完売するなど繁盛した様子。 【寺前駅前銀座商店会】 ①実施日：10月1日 JR寺前駅前にて、ヒルクライムのおもてなしイベントを実施。 当会では飲食物の提供も行い、ヒルクライム参加者や近隣住民が多数来場 ②実施期間：12月2日～1月10日 JR寺前駅前にてペットボトルイルミネーション事業を実施し、連日多数の見物客で賑わった。			●	●	●

令和6年度の取組一覧

播但線WT

令和6年度の取組（一覧）

播但線

	項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
					日常利用	観光需要	まちづくり
市町	【継】 JR利用促進補助金（3制度）	①特急はまかぜ利用促進補助金、②JR播但線利用促進補助金、③遠距離通勤・通学等補助金	6,400千円	神河町	●		
	【継】 長谷駅利用促進事業	『長谷地区の振興を考える会』に長谷駅の利用促進を図るための事業実施を委託	1,200千円		●		●
	【継】 公共交通に対する意識醸成	「公共交通はみんなで守っていくもの」というマイルール意識の醸成に向けた意識啓発に取り組む	—	朝来市	●	●	●
	【継】 公共交通の利用促進	各種助成制度の創設、駅の待合環境整備を通じて、公共交通の利用促進に努める。	—		●		●
	【継】 播但線鉄道整備・利用促進協議会の取り組み	福崎町の「ガジロウ」を活用して広報活動や特定期間を「播但線利用月間」として集中的な利用促進を図る予定	—		●		●
事業者・団体	【継】 WESTERへの情報集約	自治体、観光協会、ワーケーション施設等からの情報をWESTERへ掲載しPR	—	JR西日本、各自治体		●	
	【継】 兵庫県但馬キャンペーンひょうこと巡る山陰線・播但線の旅	駅と主要観光地のデジタルスタンプラリーの実施及び期間中に但馬をイメージしたキャラクター等のラッピング列車を運行	—	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会		●	
	【新】 兵庫DCアフターキャンペーン	JR西日本と沿線自治体、地元観光業者、旅行会社等が一体となった観光キャンペーン	—	JR西日本、各自治体		●	
	【継】 銀の馬車道・サイクルトレイン	「銀の馬車道・鉱石の道」の魅力発信を目的としたサイクルトレイン(香呂駅～生野駅)の運行	—	JR西日本		●	

令和6年度の取組（一覧）

播但線

	項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
					日常利用	観光需要	まちづくり
市町	【継】 特急はまかぜ利用促進補助金 【継】 特急はまかぜ利用者専用 パーク&ライド	特急はまかぜの利用者に対する補助金及びパークアンドライド駐車場の確保	1,000千円	朝来市	●	●	
	【継】 JR播但線団体利用促進補助金	播但線の普通列車を4人以上の団体に利用した場合に支給する補助金	108千円			●	
	【継】 公共交通通勤利用助成金 (補助金・奨励金)	通勤時に鉄道や路線バスを定期利用している者又は企業等に対して支給する、補助金・奨励金	619千円		●		
	【継】 情報発信	ケーブルテレビや市広報誌、SNSなどの情報媒体を使った情報発信			●		●
	【継】 利用促進	市民・行政・交通事業者の3者が一体となった利用促進 (市職員による利用促進の取組など)			●	●	
	【継】 駅周辺駐車場利用料金 助成事業補助金	JR西日本の通勤定期券を購入して鉄道を利用し、市内駅周辺の月極駐車場を利用する市民に対する駐車場利用料金の補助(1カ月当たり、上限3,000円)	100千円		●		
	【新】 デマンド型乗合交通の導入	市内公共交通の利便性向上と鉄道や路線バスからの2次交通の充実を図るため、市内全域でデマンド型乗合交通を段階的に導入	76,247千円		●	●	●
	【新】 アフターDC観光キャンペーン	鉄道を利用した市内観光地への来訪者を対象に、観覧無料券の配布や記念品を渡すなどの観光キャンペーンを実施	280千円			●	
【新】 和田山駅利便性向上委託事業	和田山駅の南北をつなぐ自由道路の概略設計と和田山駅前ロータリーの利便性向上の検討	15,000千円	朝来市	●		●	

令和6年度の取組（一覧）

播但線

	項目	概要	予算	実施主体	取組の区分		
					日常利用	観光需要	まちづくり
県	【継】 1日乗車券500円観光バス「たじまわる」の運行	JR各駅等と観光地を結ぶ1日乗車券500円観光バス「たじまわる」の継続運行を軸に、主要観光地の二次交通を確保 ガイド無料や観光施設入館無料など、立ち寄り先での特別体験を企画	15,437千円	但馬観光協議会		●	
	【継】 レンタサイクル利用補助事業	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者の2次アクセスを充実				●	
	【継】 車両基地探検の実施	地域住民（子ども）を対象に豊岡駅構内の車両基地見学会を実施	790千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会	●		
	【継】 JRハイキング	JR播但線の竹田駅～生野駅の間で事業を展開し、沿線の地域資源を活かした新たなツーリズムを創出するガイド付きハイキングツアー造成を実施する事業者、地域活動団体等の取組を支援し、同線の魅力向上及び利用拡大を図る。					
	【継】 鉄道利用促進但馬キャンペーンの展開	駅と主要観光地のデジタルスタンプラリーの実施及び期間中に但馬をイメージしたキャラクター等のラッピング列車を運行	-			●	
	【新】 アフターDC・ひょうごFPを見据えた地域内周遊の促進	アフターDCやFPの展開を契機に、来但を見込む観光客の二次交通手段の確保や今後の運行に向けた検証・検討のため、交通事業者が実施する周遊観光に資する事業に対し、事業費の一部を支援し観光地と公共交通機関を結ぶ二次交通の充実を推進	3,000千円	兵庫県		●	